

被 表 彰 校 等 一 覧

学校等				主な取組等	摘要
団体名	所在地	校長等	児童生徒等数		
一関市立摺沢幼稚園	一関市大東町摺沢字観音堂82-2	芦宏 (職員数8名)	22	<ul style="list-style-type: none"> ・年5回の交通安全教室(一関市生活環境課主催2回、東磐井地区交通安全協会主催3回)の実施 ・年4回の避難訓練(火災、地震、引き渡し訓練、不審者)の実施 ・年1回の防犯教室(千厩警察署に依頼、12月実施)の実施 ・年度当初に摺沢地区交通安全母の会協力によるチャイルドシート装着の有無の確認と保護者への啓蒙活動 ・月1回職員による安全点検の実施及び業者による遊具点検の実施 ・月1度の園だよりにより保護者への啓蒙活動(登園時、降園時の注意点など) 	
岩手県立岩泉高等学校	下閉伊郡岩泉町岩泉字松橋4	吉川彰彦 (職員数27名)	146	<ul style="list-style-type: none"> ・地震、火災による自主避難経路設定、要救助者の搬送、AED活動など、実践的な避難訓練を実施。 ・普通救命講習の実施 ・熱中症予防情報の提供(保健委員会により毎日掲示) ・情報モラル講演の実施 ・復興教育の実施(被災地見学、復興講話、避難所運営HUGなど) ・交通安全マナーアップ指定校としての啓蒙活動 ・毎月1回の全職員による安全点検の実施 ・警察署と連携し、学校近辺の危険場所の確認 ・緊急時の一斉メールシステムの活用、危機管理マニュアル見直し、救命講習など、緊急時の対応の職員研修の実施 ・月1回、保護者、地域と連携した挨拶運動 ・町教育委員会を中心に町内の小中高が連携し、交通マナーを含めた生活ルール策定と周知徹底 ・宮古地区生徒指導連絡協議会での実践報告 ・近隣高校と連携を取り、学校安全教育のブラッシュアップ <p>※「ASUKAモデル」が生かされたことと思われる事案</p> <p>部活動中の生徒の肋骨骨折と学校警備員の転倒による意識混濁の2件の救急搬送事案が発生した際にどちらも教師不在時の事案であったが、生徒自身が教員への報告と同時に担架による搬送準備、経過の記録を実施していた。また、意識混濁の際には異常呼吸(死線期呼吸)の確認やAEDの準備を迅速に行っており、成長を感じることができる事案となった。</p>	